

原子力発電所の運転および建設状況

原子力安全対策課 平成14年 9 月 6 日現在

<http://www.atom.pref.fukui.jp/>

設備容量	運転中	14基	計1145万kW
	建設中	1基	計 28万kW

項 目 発電所名		現 状	稼働率（進捗率）%		概 要
			平成14年度	運開後累計	
日本原子力発電(株) 敦 賀 発 電 所	1号機	運 転 中	8 8 . 2 8 7 . 7	6 8 . 1 6 5 . 2	
	2号機	運 転 中 (定熱運転中)	8 1 . 3 8 0 . 7	8 2 . 3 8 1 . 8	第12回定期検査(H14.6.11～8.6) 7.7 9' 原子炉起動、16' 32' 臨界。7.9 16' 調整運転開始。7.15 15' 原子炉熱出力運転管理目標値到達(電気出力101.9%)。8.6 16' 10' 営業運転再開。
核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所		運 転 中 (電気出力約60%)	6 3 . 9 5 9 . 9	6 3 . 3 6 1 . 8	H14.8.28 10' 50' B系循環水ポンプが自動停止。直ちに電気出力を約92%に降下させた後、同日18' 48'、運転のより安定化を図るため、復水器真空度を当該ポンプ自動停止前の約700mmHg(電気出力約60%)として、運転を継続。現在、原因調査を実施中。
核燃料サイクル開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ		性能試験中 (事故停止中)	—	—	H7.12.8 中間熱交換器(C) 2次系出口配管からのナトリウム漏えいに伴い、原子炉手動停止。 平成13・14年度設備点検(H13.9.8～H15.2月予定)
関西電力(株) 美 浜 発 電 所	1号機	定期検査中	1 0 0 9 8 . 7	5 2 . 3 4 9 . 4	第19回定期検査(H14.9.1～H14.12月中旬) H14.9.1 1' 発電停止。
	2号機	運 転 中 (定熱運転中)	7 0 . 8 6 9 . 5	6 1 . 1 5 9 . 3	第20回定期検査(H14.6.3～8.13) 7.15 16' 30' 原子炉起動、7.16 0' 20' 臨界、7.17 18' 12' 調整運転開始。7.23 10' 37' 原子炉熱出力運転管理目標値到達(電気出力100.2%)。8.13 15' 55' 営業運転再開。
	3号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	7 5 . 3 7 3 . 9	H14.8.20 13' 55' 「格納容器循環ファン軸受温度高」警報等が発信。このため14' 08'、同ファンを手動停止した。調査の結果、モータ軸受けに損傷が認められたため、軸受けを新しいものに交換し、8.25 15' に当該システムを復旧した。 (添付資料1参照)
関西電力(株) 大 飯 発 電 所	1号機	運 転 中	1 0 0 9 9 . 7	6 3 . 9 6 2 . 7	
	2号機	運 転 中	1 0 0 9 9 . 9	7 1 . 6 7 0 . 4	
	3号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	8 9 . 0 8 8 . 5	
	4号機	運 転 中 (定熱運転中)	9 0 . 2 9 1 . 1	8 5 . 2 8 4 . 7	
関西電力(株) 高 浜 発 電 所	1号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	6 6 . 8 6 5 . 1	
	2号機	運 転 中 (定熱運転中)	6 9 . 9 7 0 . 6	6 7 . 5 6 5 . 6	
	3号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	8 5 . 2 8 4 . 7	
	4号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	8 4 . 8 8 4 . 3	H14.8.9 19' 43' 「原子炉トリップバースヤル動作」等の警報が発信。調査の結果、BII-7 1次冷却材高温側温度測定系(保護系)の温度検出器1本の不良を確認。検出器を予備側に切替え、正常動作を確認した上で8.10 0' 40' 当該システムを復旧、警報はリセットされた。 (添付資料2参照)
		合 計	9 0 . 3 9 2 . 6	6 9 . 6 7 1 . 1	(注) 稼働率（進捗率）は、平成14年 8 月末現在。 累計は、営業運転開始以降。

上段が、時間稼働率 = $\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$

下段が、設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$

< 本件に関する問い合わせ先 >
原子力安全対策課(担当：島田)
(県庁内線)2353(直通)0776-20-0314